

占冠村の福祉を考える

村が

『小規模多機能型居宅介護施設』

を選んだわけ

今も、昔も「長年住み慣れた土地で自分の生涯を終えたい」、多くの方がこのように思い願っているのではないのでしょうか。

現在、占冠村では、高齢化が進むほど今後の日常生活に強い不安を抱えるようになり、高齢者にあつては特別養護老人ホーム入所や親族を頼るなど、村を離れる選択も考えなければならぬ状況にあります。

村はこれまで、住民が年齢を重ねても安心して暮らし続けるためには福祉施設（特別養護老人ホーム）が必要であると、建設に向けた検討を重ねてきました。しかしながら、施設運営には毎年多額な費用を必要とし、ひいては村の財政負担が膨大になると想定され、当時の見通しでは財政運営のひっ迫化が避けられず、施設の建設を断念してきた経緯があります。

※特別養護老人ホームの安定した運営のためには、ベッド数は最低でも80床、そして一定の入居者を確保することが必要です。

一方、村の人口や高齢化の推移は依然として憂慮すべき状況で、とりわけ高齢者福祉施策の推進は喫緊の課題になってきたところです。

このようなことから、村では、デイサービスセンターの利用なども考え、最低でも要支援、要介護の方へ安心して安定したサービスを提供する施設として「小規模多機能型居宅介護施設」が最適であるとの見解に達しました。

占冠村議会とも意見交換を重ね「小規模多機能型居宅介護施設」が村には適している」と意見の一致をみました。

【お知らせ】

村では、8月に施設に関するアンケート調査を実施します。また、皆さまへの説明会を予定しています。説明会の日程については回覧等でお知らせいたします。

■福祉施設推進室

電話 56・2122



ふれあい広場の様子

衛生用品の資源化実証実験にご協力を！

「紙おむつ」「生理用品」 「ペット用シート・砂」を 分別収集します！！



富良野広域圏では、ごみの資源化利用を推進し、ごみ焼却量を抑制、ごみ質を改善することで焼却施設、最終処分場の維持管理経費の節減と施設の延命化を図ることを目的に、衛生用品の資源化処理試験を計画しています。

これまで「一般ごみ」として処理されてきた「紙おむつ」「生理用品」「ペット用シート・砂」(以下、「衛生用品」)を分別収集し、専用の機械で破碎→発酵→乾燥→滅菌→成型により燃料ペレットを製造するものです。

★対象となるもの

「衛生用品」～「紙おむつ」「生理用品」「ペット用シート・砂」



★収集指定日

第1期・・・9月 毎週火曜日

第2期・・・1月 毎週火曜日

カレンダー

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※村のカレンダーでもお知らせします。

★排出方法

- 「一般ごみ」の中から「紙おむつ」「生理用品」「ペット用シート・砂」を分別し、指定日にごみステーションへ排出してください。「紙おむつ」「生理用品」「ペット用シート・砂」は混合しても問題ありません。
- 指定袋は「一般ごみ」用の透明または半透明袋を使用してください。
- 「紙おむつ」の汚物は、トイレで流してから排出してください。

★住民の皆さまへのお願い

- 「衛生用品」の中に「一般ごみ」など対象となるもの以外を混合しないでください。
- 「一般ごみ」と同じ袋を使用しますので、必ず指定日を守ってください。



エネルギーの地産地消が期待されており、村内からの排出量も実用化に向けた大変重要なデータとなります。

ごみの減量化と資源化に向け、皆さまのご協力をお願いいたします！

■産業建設課 環境衛生担当 電話56-2173